

# Kansai Economic Insight Monthly

2016/10/28

Vol.42 September/October

・ APIR “Kansai Economic Insight Monthly”は、関西経済とそれに関連する中国経済の動向に関する分析レポートです。

・ レポート公開時期は毎月第4週火曜日を予定しています。

・ 執筆者は、稲田義久(甲南大学教授、APIR 数量経済分析センター長)、林万平・木下祐輔・James Brady・Cao Thi Khanh Nguyet (各APIR 研究員) 及び豊原法彦(関西学院大学教授)です。

・ 本編内の中国景気モニターは、APIR 中国経済分析のプロジェクトによるものであり、関西経済分析と連動して定期的に発信します。

・ 本レポートにおける「関西」は、原則として滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の2府4県です。統計出所を発表している省庁などが「近畿」としている場合も「関西」に統一しています。

## 目次

|                   |    |
|-------------------|----|
| 要旨                | 1  |
| 関西経済のトレンドとCI, CLI | 2  |
| 景気の現況             | 3  |
| 関空モニター            | 9  |
| 中国景気モニター          | 10 |
| 主要月次統計            | 14 |
| Release Calendar  | 15 |

## 要 旨

### - 足下の景気は停滞、先行きは緩やかな低下を見込む※ -

- ✓ 8月の鉱工業生産指数は5カ月ぶりのプラスも、7-8月平均は4-6月期比-1.6%となっており、生産の基調は弱い。
- ✓ 9月の輸出は12カ月連続の前年比マイナス。輸入は13カ月連続の同マイナス。結果、貿易収支は8カ月連続の黒字だが、今後の基調については原油価格の動向に注意が必要である。
- ✓ 9月の消費者態度指数は雇用環境や収入の増え方指数の改善により、2カ月連続の改善。一方、景気ウォッチャー現状判断DIは2カ月連続で悪化した。秋の行楽シーズンや冬物商材の売上増加への期待から、先行き判断DIは3カ月連続で改善。
- ✓ 6月の関西2府4県の現金給与総額は2カ月ぶりの上昇。一方、7月の「関西コア」賃金指数は6カ月ぶりに下落した。
- ✓ 8月の大型小売店の販売額は2カ月ぶりの前年比マイナス。百貨店は8カ月連続の同マイナス、スーパーは3カ月ぶりの同マイナス。猛暑の影響等により秋物の衣料や農産品、水産品などが不振であった。
- ✓ 8月の新設住宅着工戸数は2カ月ぶりの前年比マイナス。9月のマンション契約率は4カ月ぶりに70%台を下回った。
- ✓ 8月の有効求人倍率は、2014年9月以来23カ月ぶりに小幅下落。一方、新規求人倍率は3カ月ぶりに上昇した。完全失業率は2カ月ぶりに悪化したものの、雇用情勢は堅調である。
- ✓ 9月の公共工事請負金額は3カ月連続の前年比プラスも、季節調整値でみれば2カ月連続のマイナス。
- ✓ 9月の関空への訪日外客数は前年比+13.8%と44カ月連続のプラスで依然高水準を維持している。2016年に入り、訪日外客の平均支出額は、円高の影響もあり減少傾向にある。
- ✓ 中国7-9月期の実質GDP成長率は前年同期比+6.7%となり、3四半期連続で同水準となった。

※景気の基調判断はAPIR(豊原法彦リサーチリーダー)開発の関西景気動向指数(CI, CLI)に基づいている。  
関西全体のCI、試作CLIの推移は2ページを参照。

## 【関西経済のトレンド】

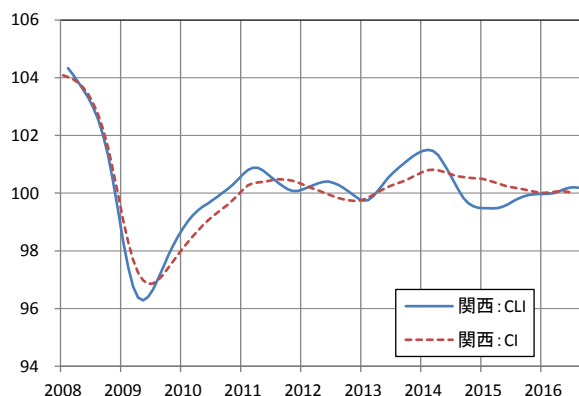
|        | 2015年 |     |     |     | 2016年 |    |    |    |    |    |    |    |    |
|--------|-------|-----|-----|-----|-------|----|----|----|----|----|----|----|----|
|        | 9月    | 10月 | 11月 | 12月 | 1月    | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
| 生産     | ↑     | ↑   | ↓   | ↓   | ↑     | ↓  | ↑  | ↓  | ↓  | ↓  | ↓  | ↑  |    |
| 貿易     | ↑     | ↑   | →   | ↑   | →     | ↑  | ↑  | ↑  | →  | ↑  | ↑  | →  | →  |
| センチメント | ↓     | →   | ↓   | ↑   | ↓     | ↓  | ↓  | ↑  | →  | ↓  | ↑  | ↓  | ↓  |
| 消費     | ↑     | ↑   | →   | →   | ↑     | ↑  | →  | →  | ↓  | ↓  | →  | ↓  |    |
| 住宅     | →     | ↑   | →   | ↓   | ↑     | ↑  | ↑  | ↑  | →  | ↓  | ↑  | ↓  |    |
| 雇用     | ↑     | →   | ↑   | ↑   | →     | ↑  | ↑  | ↑  | ↑  | ↑  | ↑  | ↓  |    |
| 公共工事   | ↓     | ↓   | →   | →   | ↓     | ↑  | ↑  | ↑  | →  | ↓  | ↑  | ↑  | ↑  |
| 中国     | →     | →   | →   | ↓   | ↓     | ↓  | →  | →  | →  | →  | →  | →  | →  |

(※トレンドの判断基準)

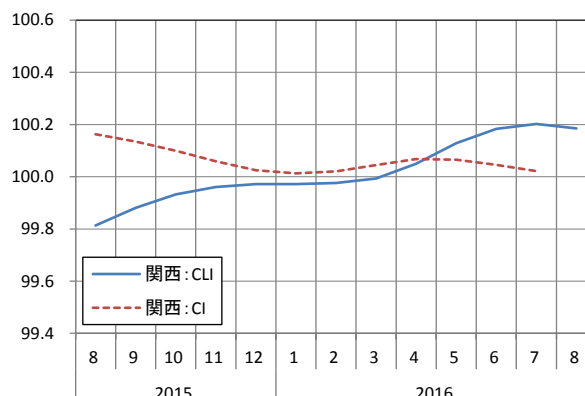
- ・**生産**：近畿経済産業局『近畿地域鉱工業生産動向』生産指数(季節調整値)が前月比+0.5%以上であれば上向き、同-0.5%未満であれば下向き、それ以外は横ばい。
- ・**貿易**：大阪税関『貿易統計』の近畿圏貿易収支(入出超額)前年同月から 500 億円以上の改善は上向き、同 500 億円以上の悪化は下向き、それ以外は横ばい。
- ・**センチメント**：内閣府『景気ウォッチャー調査』の近畿現状判断(方向性)DI が前月比で 1 ポイント以上の改善は上向き、1 ポイント以上の悪化は下向き、それ以外は横ばい。
- ・**消費**：近畿経済産業局『大型小売店販売状況』(全店ベース)が前年同月比で 1%以上増加していれば上向き、同 1%以上悪化していれば下向き、それ以外は横ばい。
- ・**住宅**：国土交通省『住宅着工統計』新設住宅着工戸数が前年同月比で 5%以上増加していれば上向き、同 5%以上悪化していれば下向き、それ以外は横ばい。
- ・**雇用**：厚生労働省『一般職業紹介状況』有効求人倍率(季節調整値)が前月比で 0.01 ポイント以上の改善は上向き、変化がなければ横ばい、0.01 ポイント以上の悪化は下向きとする。
- ・**公共工事**：西日本建設業保証株式会社『公共工事前払金保証統計』公共工事請負金額が前年同月比で 5%以上増加していれば上向き、同 5%以上悪化していれば下向き、それ以外は横ばい。

## 【関西の景気動向指数(CI 一致指数・試作 CLI)の推移】

CI 一致指数・試作 CLI の推移(2008 年 1 月～2016 年 8 月まで)



直近 1 年間の推移(2015 年 8 月～2016 年 8 月まで)



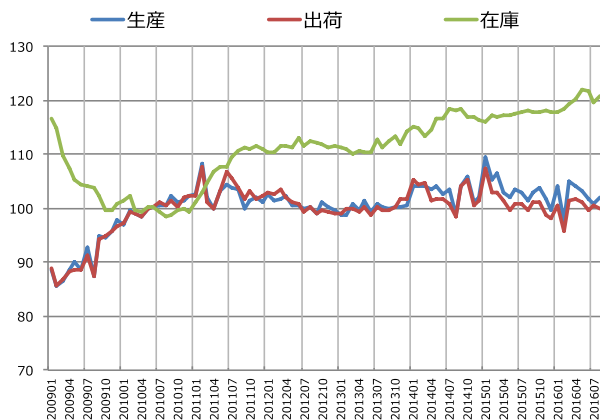
## 【鉱工業生産動向】

### (1) 関西の生産動向

2016年8月の鉱工業指数(速報値：季節調整済, 2010年=100)を見ると、生産は102.0で前月比+1.1%と5カ月ぶりの上昇。出荷は99.9で同-0.8%と2カ月ぶりの下落。在庫は120.8で同+1.0%と3カ月ぶりの増加となった。なお、8月近畿の実質輸出は前月比同+1.0%と2カ月ぶりの上昇であった。しかし、7-8月平均の生産は4-6月期比-1.6%となっており、生産の基調は弱い。

業種別に生産指数をみると、化学(除. 医薬品)(前月比+12.0%, 3カ月ぶり)、電子部品・デバイス(同+12.5%, 3カ月連続)、輸送機械(除. 航空機・鋼船・鉄道車両)(同+5.0%, 3カ月連続)等が増産となった。一方、はん用・生産用・業務用機械(同-5.9%, 3カ月連続)、窯業・土石製品(同-3.1%, 2カ月ぶり)、金属製品(同-2.9%, 2カ月ぶり)等が減産。

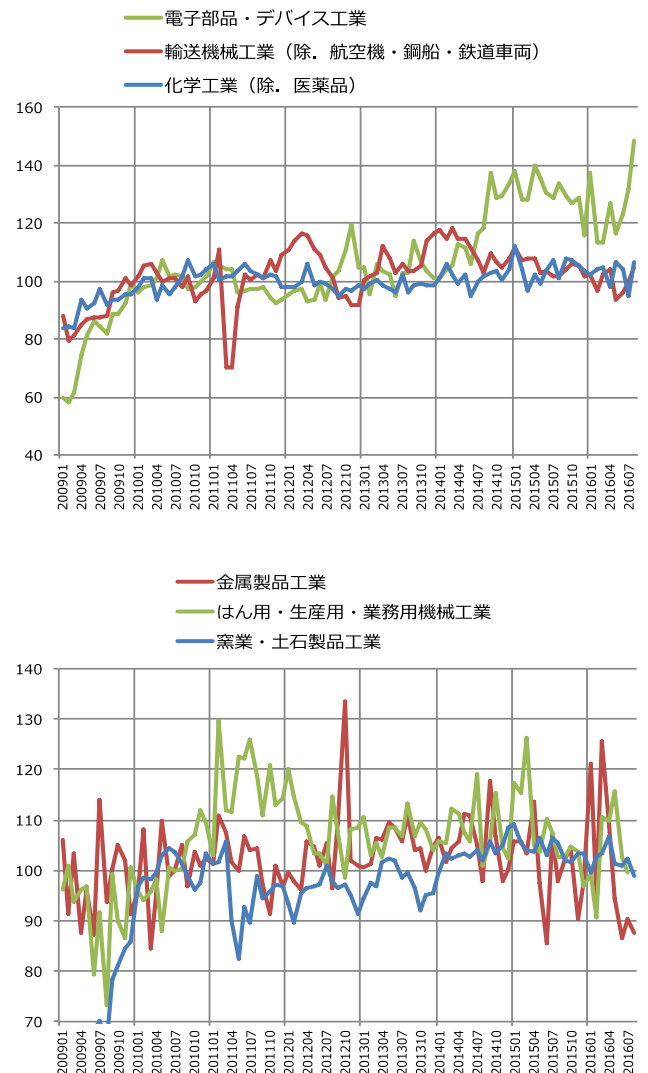
鉱工業指数の推移(関西：2016年8月まで、2010年=100)



(注) 福井県を含む。

(出所) 近畿経済産業局「近畿経済の動向」

業種別生産指数の推移(関西：2016年8月まで、平成22年=100)



(注) 福井県を含む。

(出所) 近畿経済産業局「近畿経済の動向」

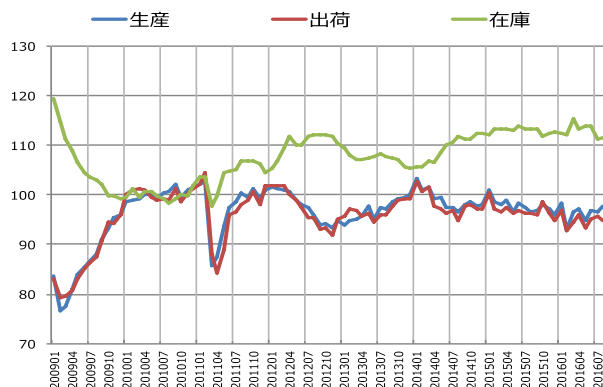
### (2) 全国の生産動向

全国における8月の鉱工業指数(確報値：季節調整済, 2010年=100)を見ると、生産は97.8となり前月比+1.3%と2カ月ぶりの上昇。出荷は94.7で同-1.1%と3カ月ぶりの下落。在庫は111.5で同+0.3%と3カ月ぶりの上昇。

業種別にみると、電子部品・デバイス(同+6.2%)、情報通信機械(同+14.0%)、化学(同+2.7%)等を中心に増産となった。一方、輸送機械(同-1.7%)、食料品・たばこ(同-1.6%)、金属製品(同-1.1%)等は減産となった。

速報値公表時に発表された製造工業生産予測調査によれば、9月 は同+2.2%、10月 は同+1.2%となっている。ただ、前回の同調査では8月が+4.1%であったものの、足下、生産は下方修正となっており、生産動向は楽観視できない。

鉱工業指数の推移（全国：2016年8月まで、2010年=100）



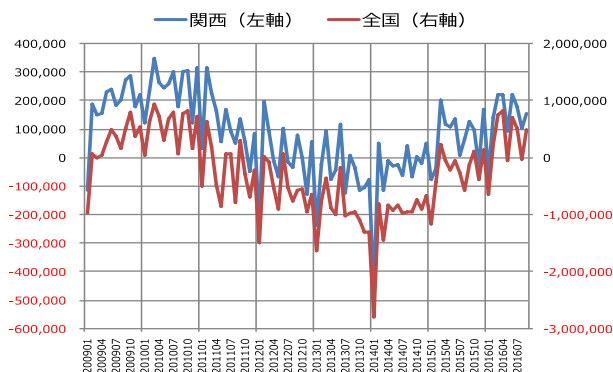
(出所) 経済産業省「鉱工業指数」

## 【貿易動向】

### (1) 純輸出

貿易概況(速報値)によれば、9月関西の貿易収支は+1,566億円と8カ月連続の黒字となり、貿易収支は前年同月比+22.5%と4カ月連続で拡大した。全国の貿易収支(速報値)は+4,983億円と2カ月ぶりの黒字となり、前年同月から6,196億円改善した。大幅な円高進行により輸出減が続いている一方、資源価格の低下もあり、輸入減が輸出減を上回る状況が続いている。結果、関西、全国の貿易収支は黒字だが、今後の基調については、原油価格の動向に注意が必要である。

関西・全国の貿易収支の推移：(百万円、2016年9月まで)



(出所) 大阪税関調査統計課「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」

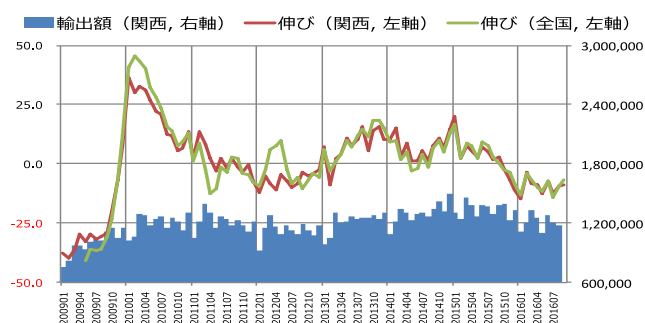
### (2) 輸出

関西9月の輸出額(速報値)は1兆2,633億円。前年同月比-8.9%と12カ月連続の減少。財別に見れば、鉄鋼、通信機器の輸出が減少した。

全国9月の輸出額(速報値)は5兆9,684億円、前年同月比-6.9%と12カ月連続の減少。財別に見れば、自動車、鉄鋼、半導体等電子部品の輸出が減少。

同月の為替レート(税関長公示レートベース)は101.85円で前年同月比+15.8%と8カ月連続で円高に振れた。

関西・全国の輸出の推移(百万円、前年同月比、2016年9月まで)



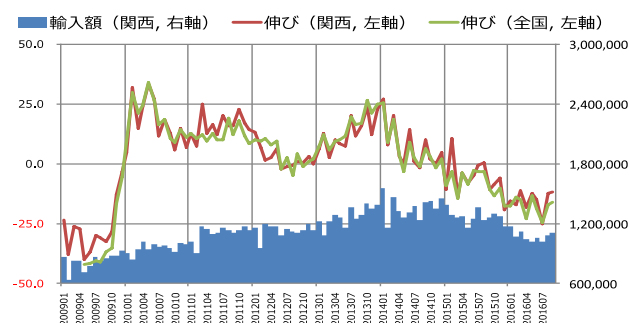
(出所) 大阪税関調査統計課「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」

### (3) 輸入

関西9月の輸入額(速報値)は1兆1,067億円、伸びは前年同月比-12.1%と13カ月連続の減少。財別に見れば、天然ガス及び製造ガス、衣類及び同付属品が減少した。

全国9月の輸入額(速報値)は5兆4,701億円、前年同月比-16.3%と21カ月連続の減少。財別に見れば、原油、液化天然ガス、衣類・同付属品等の輸入が減少している。資源価格は引き続き大幅下落傾向にある。

関西・全国の輸入の推移(百万円、前年同月比、2016年9月まで)



(出所) 財務省「財務省貿易統計」

#### (4) 関西の地域別貿易

関西9月の貿易収支を地域別に見ると、対アジア貿易収支は+1,922億円と8カ月連続の黒字となり、貿易収支は前年同月比+10.8%拡大した。4カ月連続のプラス。輸出は11カ月連続の減少(同-7.1%)。財別に見れば、通信機、半導体等電子部品等が減少した。一方、輸入は13カ月連続の減少(同-11.1%)。財別に見ると、衣類及び同付属品、原油及び粗油等が減少した。

うち、対中貿易収支は-1,033億円と55カ月連続の赤字も、赤字幅は前年同月から縮小した(同-10.1%)。輸出は7カ月連続の減少(同-9.6%)。輸入は6カ月連続の減少(同-9.7%)。

対米貿易収支は+678億円と黒字基調が続いているものの、黒字幅は3カ月連続で前年から縮小(同-17.3%)。うち、輸出は11カ月連続のマイナス(同-13.1%)。財別に見れば、医薬品、加熱用・冷却用機器等が減少した。輸入も8カ月連続の減少(同-9.7%)。財別に見れば、無機化合物、半導体等製造装置等が減少となった。

対EU貿易収支は+83億円と2カ月ぶりの黒字だが、黒字幅は前年同月比-26.8%縮小した。輸出は12カ月連続の減少(同-3.4%)。財別に見れば、有機化合物、建設用・鉱山用機械等が減少。輸入は7カ月連続の減少(同-1.2%)。財別に見れば、バッグ類、衣類及び同付属品等が減少。

#### 【消費者センチメント】

##### (1) 消費者態度指数の動向

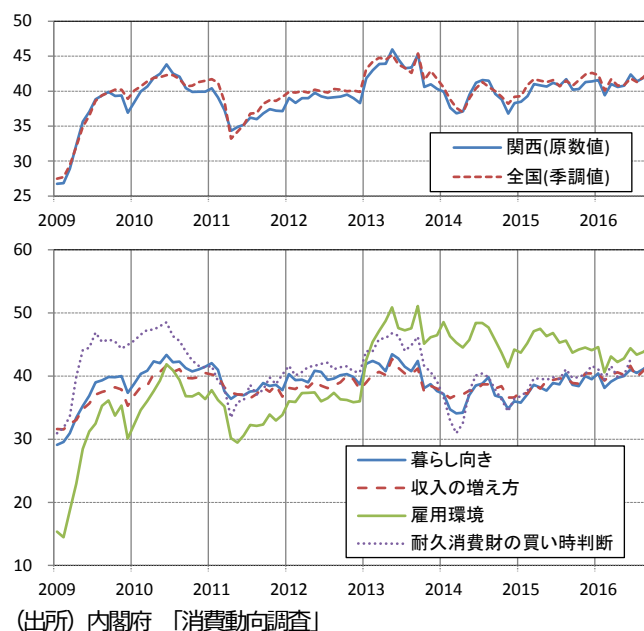
関西の9月の消費者態度指数(原数値)は前月比+0.7ポイントの42.6で、2カ月連続の改善。全国(季節調整値)も同+1.0ポイントの43.0とこちらも2カ月連続で改善した。

4つの指標構成項目のうち、全国では2カ月連続で全ての指標が前月から改善。特に、「暮らし向き」「雇用環境」指標が前月比で+1.1、+1.7ポイントそれぞれ上昇しており、雇用・賃金関連指標が改善傾向であることを反映したものと見られる。そのため、内閣府は消費者心理の基調判断を「持

ち直しの動きがみられる」として、2015年11月以来、10カ月ぶりに上方修正を行った。

関西の同指数構成項目をみると、全国と同様、2カ月連続で4指標全てが前月から改善した。内訳を見ると、「収入の増え方」が同+0.9ポイント、「暮らし向き」と「雇用環境」が同+0.8ポイント、「耐久消費財の買い時判断」が同+0.2ポイント(いずれも2カ月連続)それぞれ改善した。全国と同様、雇用・賃金関連指標の好調が続いていることが、消費者心理の改善をもたらしたと見られる。

消費者態度指数(2016年9月まで)



##### (2) 景気ウォッチャー指数の動向

関西の9月の現状判断DIは43.9と前月比-1.5ポイント低下し、2カ月連続の悪化。景況感の良し悪しの分かれ目となる50を12カ月連続で下回った。全国は同-0.8ポイント下落し44.8となり、3カ月ぶりの悪化となった。

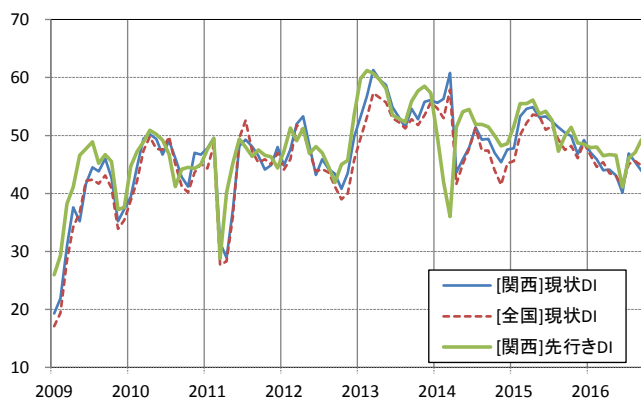
背景として、残暑が厳しく秋物商材の売上に悪影響を与えたこと、台風の上陸による天候不順のため外出を控える人が多かったことなどから、百貨店・スーパー・レストラン等で景況感が悪化したと見られる。しかし、雇用環境の改善などが景況感を押し上げ、全体では小幅の悪化にとどまった。関西では前月に引き続き、百貨店やホテルからインバウンド関



連消費の減速に関するコメントが多くなっており、景況感の押し下げに寄与したと見られる。

また、先行き判断DIは、関西では49.3と前月比+2.2ポイント上昇し、3カ月連続の改善。全国は48.5と同+1.1ポイント上昇し、こちらも3カ月連続の改善。消費者のデフレ傾向を懸念するコメントなど、依然不透明感が残るものの、秋の行楽シーズンへの期待や、今冬は低気温であるとの予想から、冬物商材の売上増を期待するコメントも多く、先行き見通しは改善している。

景気ウォッチャー調査(2016年9月まで)



(出所) 内閣府「景気ウォッチャー調査」

## 【所得・個人消費・住宅】

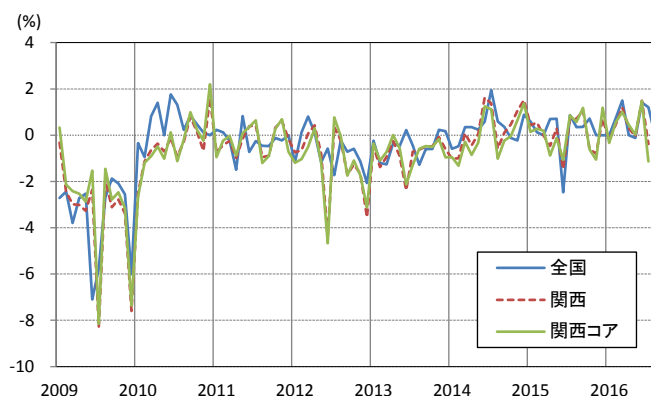
### (1) 現金給与総額

6月の関西2府4県の現金給与総額(APIR推計)は43万2,325円で前年同月比+1.5%となり、2カ月ぶりの上昇。府県別では、京都府が同+7.4%(4カ月連続)、和歌山県が同+3.0%(7カ月ぶり)、滋賀県が同+2.6%(5カ月連続)、大阪府が同+0.7%(3カ月ぶり)、兵庫県が同+0.3%(2カ月ぶり)上昇。一方、奈良県が同-1.4%(3カ月連続)の下落となった。また、7月の京都・大阪・兵庫の加重平均をとった速報性のある「関西コア」賃金指数(APIR推計)は同-1.1%と6カ月ぶりに下落した。

全国(確報値)の現金給与総額をみると、8月は前年同月比横ばいと速報値(-0.1%)と比較して小幅改善。内訳をみると、所定内給与は同+0.3%と2カ月連続のプラス。所定外

給与は同-1.9%と3カ月連続のマイナス。特別給与は同-0.5%と4カ月ぶりのマイナス。また、現金給与総額から物価上昇分(帰属家賃を除く総合)を除いた実質賃金は同+0.6%と7カ月連続で上昇した。6-8月の賞与の支給が昨年と比べて前倒しされたことが特別給与の減少につながったと見られる。一方で、所定内給与が安定的に伸びており、消費へ与える影響は軽微であると考えられる。

現金給与総額(前年同月比：％、2016年8月まで)



(注) 関西・関西コア(京都、大阪、兵庫)はAPIR推計値。現金給与総額を当該常用労働者数(平成23年平均)で加重平均。

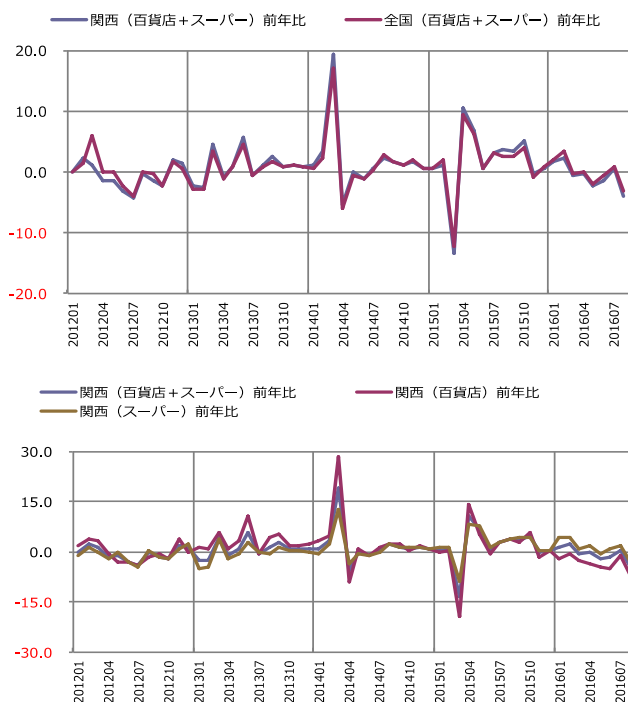
(出所) 厚生労働省「毎月勤労統計調査」

### (2) 大型小売店販売額

関西8月の大型小売店(百貨店+スーパー)の販売額(全店ベース)は、前年同月比-4.0%と2カ月ぶりのマイナス。百貨店は同-6.3%減少し(前月同-0.9%)、8カ月連続のマイナス。スーパーは同-2.7%(前月同+1.6%)と3カ月ぶりのマイナス。猛暑の影響等により秋物の衣料や農産品、水産品などが不振だった。関西の大型小売店販売額は、百貨店が引き続き減速していることに加え、スーパーもマイナスとなった。消費動向は弱い。

全国8月の大型小売店販売額(全店ベース)は前年同月比-3.2%と2カ月ぶりのマイナスとなっている。なお、経済産業省は、基調判断を「小売業販売は一部に弱さがみられるものの横ばい圏」としている。

大型小売店販売額(前年同月比：％、2016年8月まで)



(注) 福井県を含む。(出所) 経済産業省「商業動態統計」

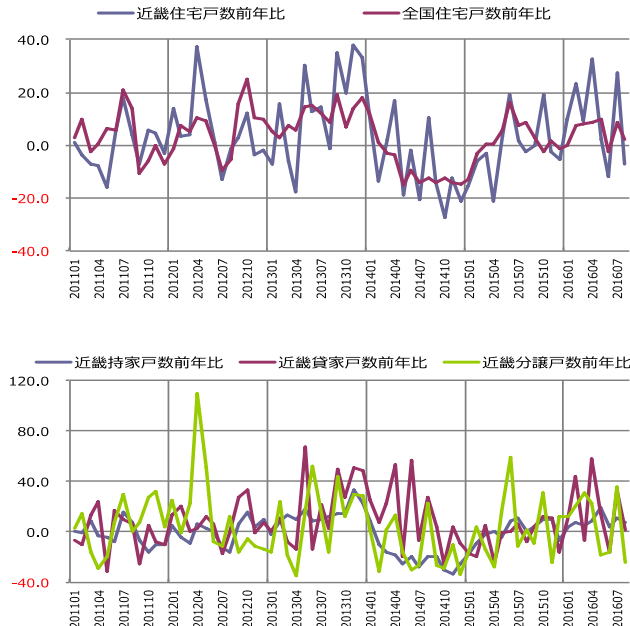
### (3) 新設住宅着工の動向

関西8月の新設住宅着工戸数は11,580戸。前年同月比-7.3%となり、2カ月ぶりの減少。全国は82,242戸と同+2.5%増加し、2カ月連続のプラス。

関西の住宅着工戸数を利用関係別にみると、持家は3,161戸。前年同月比+8.1%と8カ月連続のプラス。貸家は4,684戸、同+1.9%微増にとどまり、2カ月連続のプラス。分譲は3,724戸、同-23.7%大幅減少し、2カ月ぶりのマイナス。

9月の関西マンション契約率は69.1%(季節調整値、APIR推計)。好不調の目安となる70%を4カ月ぶりに下回った。首都圏は73.2%(季節調整値、APIR推計)と4カ月ぶりに70%を上回った。

新設住宅着工戸数(前年同月比：％、2016年8月まで)



(出所) 国土交通省「住宅着工統計」

### 【雇用動向】

#### (1) 求人倍率の動向

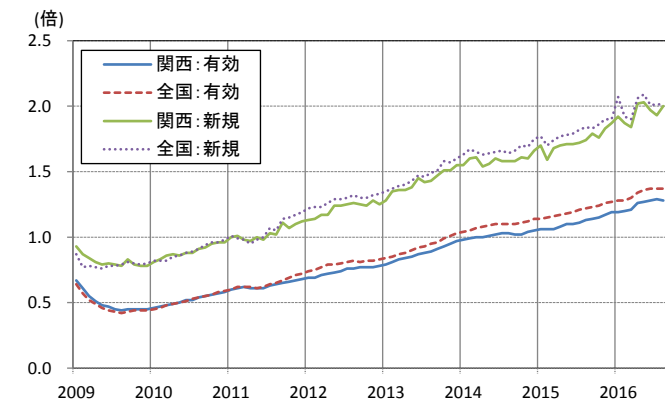
8月の関西の有効求人倍率は、1.28倍で前月比-0.01ポイントと2014年9月以来23カ月ぶりに小幅下落したものの、1974年8月(1.26倍)を上回る高水準が続いている。8月の全国は1.37倍と3カ月連続で同横ばいとなった。雇用情勢は好調が続いている。

有効求人倍率を府県別にみると、滋賀県、大阪府、和歌山県が前月比横ばいとなった。一方、奈良県では同-0.05ポイント、京都府、兵庫県では-0.01ポイント小幅下落した。

8月の関西の新規求人倍率は、2.00倍で前月比+0.07ポイントと3カ月ぶりに上昇した。3カ月ぶりに2倍を超え、高水準が続いている。全国は2.02倍と同+0.01ポイント小幅上昇した。

8月の関西の産業別新規求人数をみると、建設業、製造業、学術研究・専門技術サービス業、教育・学習支援業、医療・福祉、その他サービス業で前年同月と比べて増加。特に、宿泊業・飲食サービス業では14カ月連続で増加が続いている。

求人倍率の推移 (季節調整値、2016年8月まで)



(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」

関西2府4県有効求人倍率(2016年8月)

|    | 全国   | 関西   | 滋賀県  | 京都府  | 大阪府  | 兵庫県  | 奈良県  | 和歌山県 |
|----|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 8月 | 1.37 | 1.28 | 1.18 | 1.33 | 1.40 | 1.15 | 1.11 | 1.19 |
| 7月 | 1.37 | 1.29 | 1.18 | 1.34 | 1.40 | 1.16 | 1.16 | 1.19 |

## (2) 完全失業率の推移

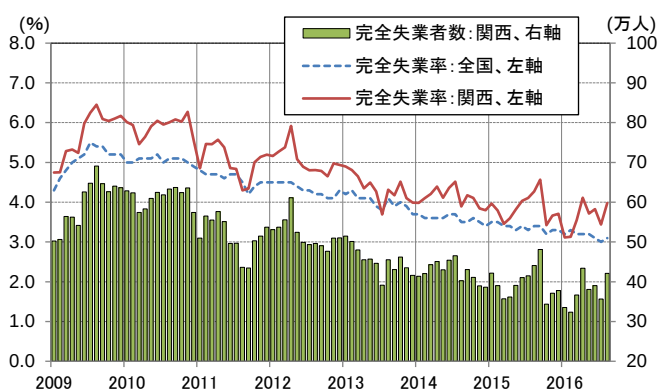
8月の関西の完全失業率(季節調整値:APIR 推計)は4.0%で前月比+0.5%ポイント上昇し、2カ月ぶりの悪化。前月と比べて労働力人口と就業者数がともに増加しており、雇用情勢は堅調が続いている。

関西の完全失業者数(季節調整値:APIR 推計)は42.1万人で前月から+6.4万人増加。2カ月ぶりに悪化した。

全国の完全失業率(季節調整値)は3.1%となり、前月比+0.1%ポイント小幅悪化した。

8月の全国の完全失業者数(季節調整値)は210万人で前月から+9万人増加。理由別にみると、非自発的な退職が2万人、自発的な退職(自己都合)が1万人増加した。

完全失業率の推移 (季節調整値:2016年8月まで)



(出所) 総務省「労働力調査」

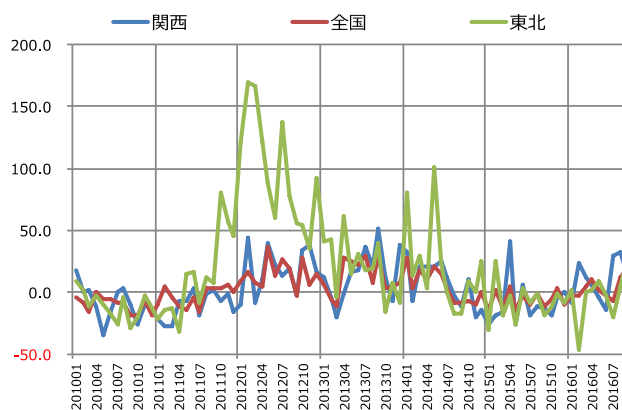
## 【公共投資】

### (1) 公共工事請負金額

関西9月の公共工事請負金額は1,517億円で前年同月比+18.0%と3カ月連続の増加。全国は1兆4,716億円で同+18.1%と2カ月連続の増加。東北は2,278億円で同+21.6%と2カ月連続のプラス。

季節調整値(APIR 推計)で見ると、関西は減少し、2カ月連続のマイナス。全国は2カ月ぶりの小幅マイナスとなった(関西:同-13.2%、全国:同-0.2%)。結果、7-9月期を前期比で見れば、関西は-0.1%とほぼ横ばいも2期ぶりのマイナス。全国は同-8.7%と4期ぶりのマイナス。請負金額に一時的な停滞が見られる。

公共工事請負金額(前年同月比:%, 2016年9月まで)



(出所) 東日本建設業保証株式会社「公共工事前払金保証統計」

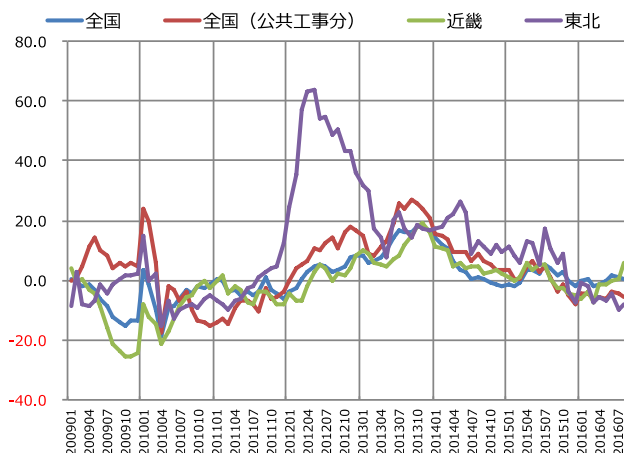
### (2) 建設工事

関西8月の建設工事は5,358億円、前年同月比+5.6%と2カ月連続の増加。東北は5,266億円、同-8.0%と10カ月連続の減少。結果、全国は4兆2,090億円となり、同+0.3%と4カ月連続の増加。全国の建設工事では、小幅ながら持ち直しが続く一方、東北は停滞が続いている。

うち、全国の公共工事は1兆6,201億円で同-5.7%と12カ月連続のマイナス。公共工事は依然マイナスが続いている。



建設工事(前年同月比: %、2016年8月まで)



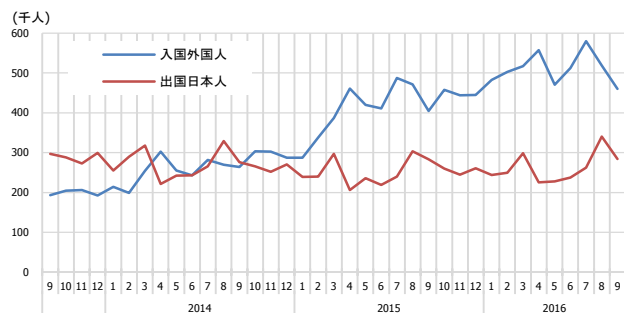
(出所) 国土交通省「建設総合統計」

## 【関空モニター】

### (1) 訪日外客数トレンド

9月の関空への訪日外客数は46万420人となり、前年同月比+13.8%と44カ月連続のプラスとなった。依然高水準を維持している。また、外国人旅客総合数(出入国含む)は89万680人(同+14.2%)となった。一方、出国日本人数は28万4,170人で、伸びは同+0.4%と4カ月連続で増加した。

訪日外客数と出国日本人数(人、2016年9月まで)



(出所) 一般財団法人関西空港調査会「KANSAI 空港レビュー」

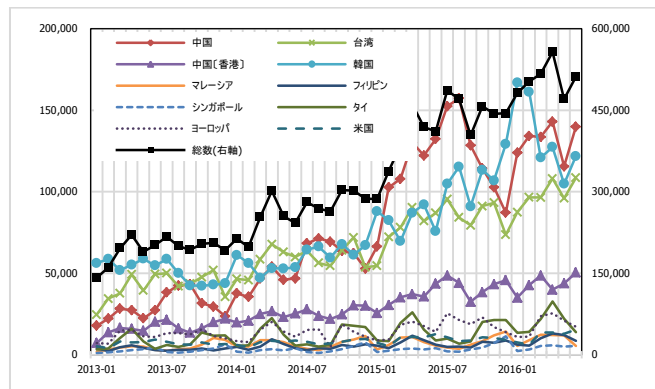
### (2) 地域別訪日外客数

訪日外客数を地域別にみると、7月は中国(香港を除く)からの入国者数が17万6,486人と最も多く、2カ月連続のプラス(前年同月比+15.7%)となった。次いで、韓国が14万8,655人(同+41.8%)、台湾が10万6,889人(同+12.0%)、中国(香港)が5万3,923人(同+11.0%)であった。

他のアジア各国からの入国者数は、タイが1万4,493人(前年同月比+46.0%)、マレーシアが6,248人(同+39.2%)、フィリピンが5,851人(同+21.7%)、シンガポールが2,336人(同+11.5%)となった。

他地域を見ると、ヨーロッパが2万3,026人(前年同月比-9.2%)と22カ月ぶりのマイナス。米国が1万3,017人(同+21.3%、7カ月連続のプラス)であった。

地域別訪日外客数(2016年7月: 人、右軸: 総数、左軸: 各国)



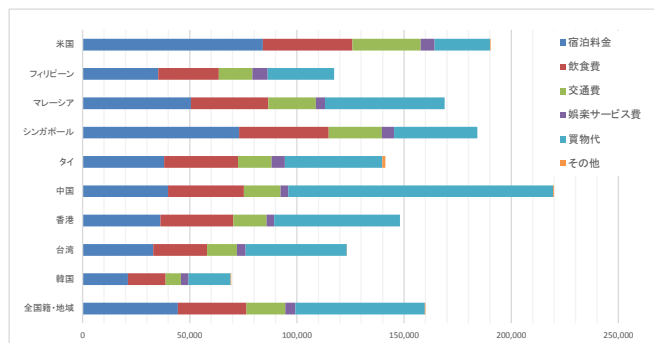
(出所) 法務省「出入国管理統計」

### (3) 訪日外客支出

訪日外国人の支出額を見れば、2016年7-9月期に日本を訪れた外国人による平均消費額は15万5,133円(前年同月比-17.1%)であった。うち、訪日外客数が最大である中国の平均支出額は22万7,821円(同-18.9%)。買い物代は10万1,964円と、全体の半分に満たない水準となった。

中国を除いた関空への入国者数が多い国々を支出額順に見ると、シンガポール17万9,419円(前年同期比-6.7%)、米国17万5,544円(同-2.3%)、香港14万7,127円(同-23.6%)、フィリピン14万593円(同+6.8%)、タイ12万2,744円(同-25.1%)、台湾11万9,921円(同-15.6%)、マレーシア11万7,874円(同-30.1%)、韓国6万7,937円(同-11.8%)であった。2016年に入り、円高の影響もあり、平均支出額は減少傾向にある。

国別訪日外客支出総額(2016年7-9月期: 全国, 円)



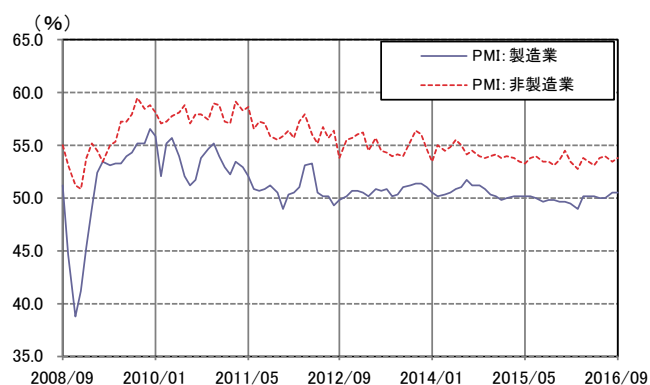
## 【中国景気モニター】

### (1) センチメント

9月の製造業購買担当者景況指数(PMI)は50.4となり、前月から横ばい。一方、非製造業購買担当者景況指数は53.7となり、前月より+0.2ポイント上昇。2カ月ぶりのプラス。

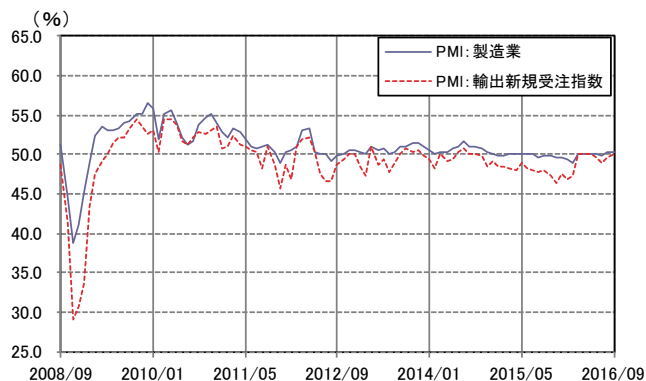
製造業 PMI のうち、生産指数は52.8となり、前月比+0.2ポイント上昇し、今年最高水準となった。一方、輸出新規受注指数は50.1となり、同+0.4ポイント上昇し、2カ月連続プラス。4カ月ぶりに50を上回った。雇用指数は48.6となり、同+0.2ポイント上昇し3カ月連続のプラス。

中国非製造業購買担当者景況指数(2016年9月まで)



(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

中国製造業購買担当者景況指数(2016年9月まで)



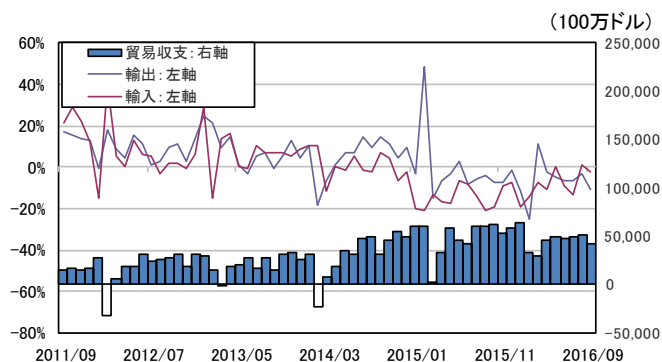
(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

### (2) 貿易動向

9月の貿易収支は+420億ドルで、31カ月連続の黒字となっているが、黒字幅は前年同月より183.5億ドル縮小した。黒字幅は2カ月連続で前年より縮小した。うち、輸出額(速報値、ドル・ベース)は1,845億ドルとなり、同-10.2%減少。6カ月連続のマイナス。輸入額は1,425億ドルとなり、同-1.9%減少し、2カ月ぶりのマイナス。

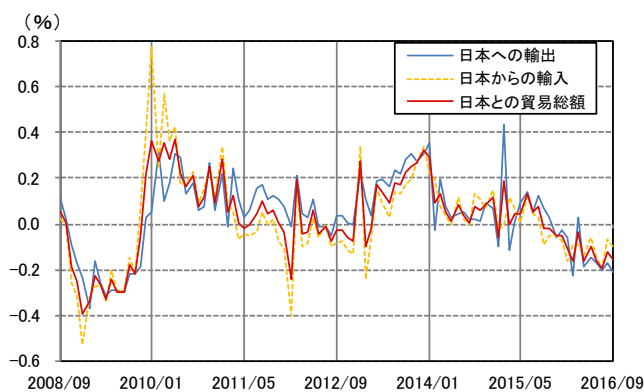
うち、対日貿易収支は-15.5億ドルとなり、8カ月連続の赤字となった。対日輸出額は118.3億ドルとなり、前年同月比-7.0%と2カ月ぶりの減少。一方、対日輸入額は133.8億ドルとなり、同+6.3%と2カ月連続の増加。なお、円ベースでみると、対日輸出額は同-21.1%と、6カ月連続のマイナス。対日輸入額は同-9.8%と、13カ月連続のマイナス。

中国の貿易動向 (前年同月比: ドル・ベース) (2016年9月まで)



(出所) 中国税関; CEIC データベース; APIR 計算

日本との貿易 (前年同月比：円ベース) (2016年9月まで)



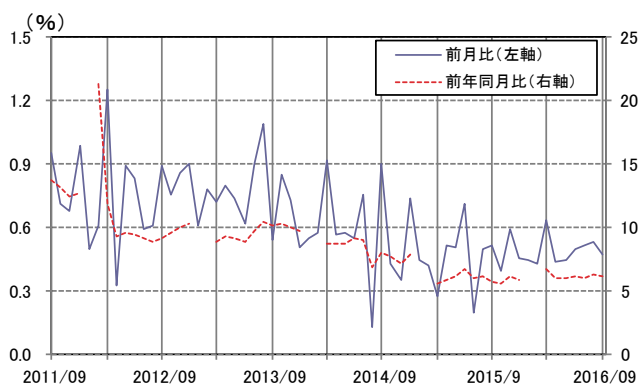
(出所) 中国税関; CEIC データベース; APIR 計算

### (3) 工業生産

9月の工業生産は前月比+0.47%となり、前月(同+0.53%)から-0.06%ポイント下落した。また、前年同月比では+6.1%となり、前月(同+6.3%)より-0.2%ポイント伸びが下落した。

産業別に見ると、自動車製造業(前年同月比+22.5%)、医薬製造業(同+10.1%)、パソコン・通信設備製造業(同+8.6%)などが高い伸びを示す一方で、繊維工業(同+3.3%)、鉄道・輸送機器製造業(同+3.9%)などは比較的低調な伸びにとどまった。また、鉄鋼などの精錬・圧延加工業(同-3.1%)が先月と同様、減産となった。

工業生産指数(2016年9月まで)



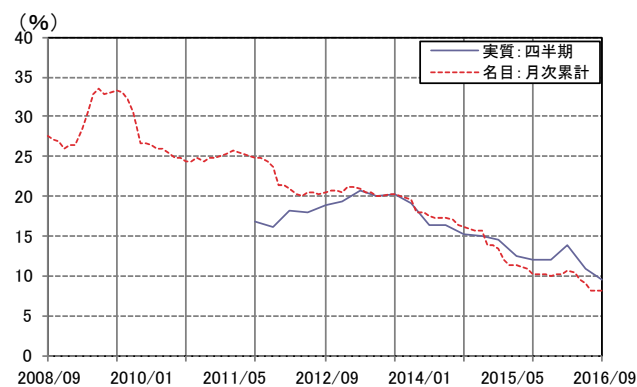
(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

### (4) 固定資産投資

1-9月期の(累積)固定資産投資(名目)は前年同月比+8.2%となり、伸びは1-8月期(+8.1%)より+0.1%ポイント幾分上昇した。

産業別に見ると、第1次産業は前年同月比+21.8%、伸びは前月より+0.3%ポイント上昇。2カ月連続で伸びが加速。第2次産業は同+3.3%となり、前月から+0.3%ポイント上昇。伸びは4カ月ぶりに加速。一方、第3次産業は同+11.1%となり、伸びは前月から-0.1%ポイント小幅減速した。

固定資産投資 (2016年9月まで) (累積伸び率)

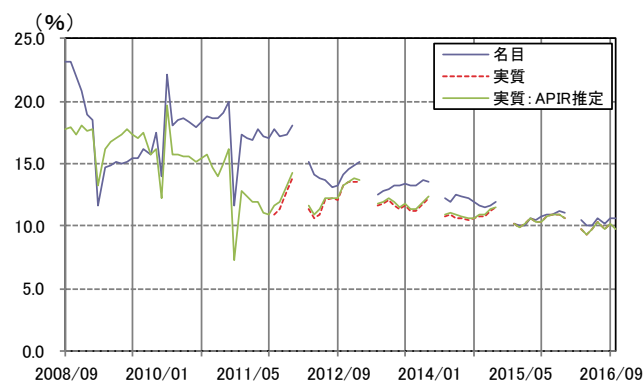


(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

### (5) 消費

9月の社会消費品小売総額(名目)は前年同月比+10.7%となった。伸びは前月より+0.1%ポイント上昇し、2カ月連続の上昇。

社会消費品小売総額成長率の推移 (2016年9月まで)



(注) APIR 値は小売価格指数を用いて計算した値

(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

## (6) 物価水準

2016年9月の消費者物価指数(CPI)は前年同月比+1.9%上昇し、伸びは前月から+0.6%ポイント上昇した。一方、生産者物価指数(PPI)は同+0.1%となり、前月より+0.9%ポイント上昇。2012年2月以来のプラスとなった。

過剰生産課題解決及び工業製品の在庫削減に関する政策により、超過供給課題がある程度緩和されていると見られている。また、国際市場における原材料価格が上昇に転じたことにより、国内製品の価格に影響が出始めている。

消費者物価指数と生産者物価指数の推移

(2016年9月まで：%)

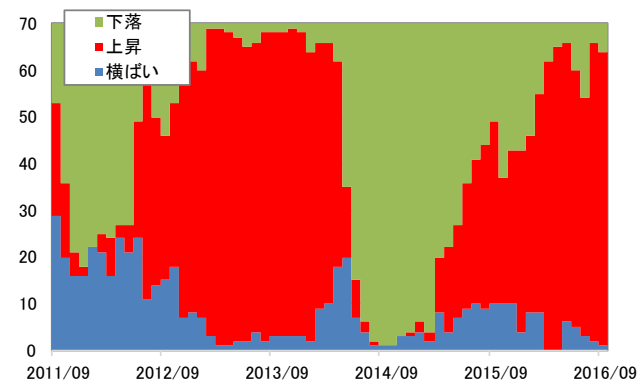


(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

## (7) 不動産市場

9月の不動産市場は、先月ほどでは無いが、好調を維持した。不動産価格(新築住宅価格)を見ると、中国主要70都市のうち、63都市で上昇。前月と比較すると、上昇した都市数が1都市減少した。一方、6都市で価格が前月から下落した。前月と比較すると、下落した都市数が2都市増加した。また、1都市では前月から横ばいであった。

新築住宅価格の主要都市集計 (2015年9月まで：都市数)



(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

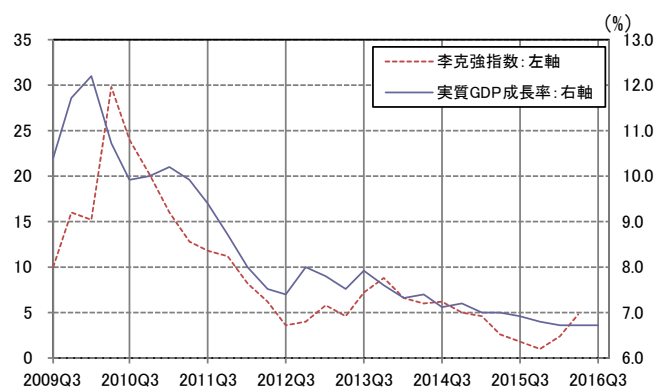
## (8) GDP

7-9月期の実質GDP成長率は前年同期比+6.7%となり、3四半期連続で同水準となった。

産業別に見ると、第1次産業の成長率は前年同期比+4.0%で伸びは前期より+0.9%ポイントの上昇。第2次産業は同+6.1%で、伸びは前期より-0.2%ポイント低下した。一方、第3次産業は同+7.6%と、伸びは前期より+0.1%ポイント上昇した。依然として成長減速トレンドから回復していない。

APIR 試算のリコノミクス指数と実質GDP成長率の推移

(2016年7-9月期まで：%)



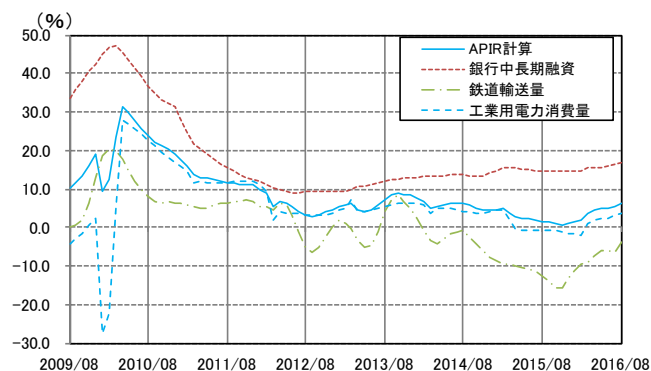
(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

## (9) リコノミクス指数

8月のリコノミクス指数(APIR 試算)は前年同月比9カ月連続で上昇。伸びは同+6.4%と前月から+1.1%ポイント上昇した。内訳をみると、銀行中長期融資は同+16.7%。伸び

は前月から+0.4%ポイント上昇し、4カ月連続で加速した。  
工業用電力消費量は同+3.6%増加し、6カ月連続のプラス。  
伸びは前月から+0.5%ポイント上昇した。一方、鉄道輸送  
量は同-3.7%と31カ月連続のマイナス。2015年11月を  
ピークとし、下落幅は縮小基調にある。

APIR 試算のリコンミクス指数とその内訳(2016年8月まで:%)



(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

Contact : 林万平・木下祐輔・James Brady・Cao Thi Khanh

Nguyet

Tel. 06-6485-7695,

E-mail. [contact@apir.or.jp](mailto:contact@apir.or.jp)



【主要月次統計】

| 月次統計                     | 15/9M   | 15/10M  | 15/11M  | 15/12M  | 16/1M   | 16/2M   | 16/3M   | 16/4M   | 16/5M   | 16/6M   | 16/7M   | 16/8M   | 16/9M   |
|--------------------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 景況感                      |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |
| [関西]景気ウォッチャー調査(現状DI、合計)  | 50.5    | 49.9    | 46.8    | 49.2    | 47.1    | 45.9    | 44.0    | 44.1    | 43.1    | 40.1    | 46.9    | 45.4    | 43.9    |
| [関西]景気ウォッチャー調査(現状DI、家計)  | 50.8    | 49.5    | 44.2    | 45.7    | 46.8    | 44.4    | 42.4    | 40.7    | 41.9    | 38.1    | 45.4    | 43.2    | 41.1    |
| [関西]景気ウォッチャー調査(先行き、合計)   | 49.9    | 51.4    | 48.7    | 48.5    | 47.9    | 48.0    | 46.5    | 46.7    | 46.6    | 41.1    | 46.1    | 47.1    | 44.8    |
| [全国]景気ウォッチャー調査(現状DI、合計)  | 47.5    | 48.2    | 46.1    | 48.7    | 46.6    | 44.6    | 45.4    | 43.5    | 43.0    | 41.2    | 45.1    | 45.6    | 42.6    |
| [全国]景気ウォッチャー調査(現状DI、家計)  | 47.0    | 48.1    | 44.4    | 47.7    | 45.6    | 43.2    | 44.3    | 42.2    | 41.9    | 40.2    | 44.5    | 44.1    | 49.3    |
| [全国]景気ウォッチャー調査(先行き、合計)   | 49.1    | 49.1    | 48.2    | 48.2    | 49.5    | 48.2    | 46.7    | 45.5    | 47.3    | 41.5    | 47.1    | 47.4    | 48.5    |
| 消費者心理・小売り                |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |
| [関西]消費者態度指数(原数値)         | 40.2    | 40.3    | 41.3    | 41.4    | 41.6    | 39.4    | 41.0    | 40.6    | 40.8    | 42.4    | 41.4    | 41.9    | 42.6    |
| [関西]〃暮らし向き(原数値)          | 38.6    | 38.4    | 40.0    | 39.5    | 40.4    | 38.1    | 39.1    | 39.7    | 40.0    | 41.0    | 40.5    | 41.1    | 41.9    |
| [関西]〃収入の増え方(原数値)         | 38.9    | 38.8    | 40.4    | 40.4    | 40.4    | 39.3    | 40.2    | 40.6    | 40.2    | 41.6    | 39.8    | 40.8    | 41.7    |
| [関西]〃雇用環境(原数値)           | 43.7    | 44.2    | 44.5    | 44.1    | 44.6    | 40.6    | 43.1    | 42.2    | 42.8    | 44.4    | 43.4    | 43.8    | 44.6    |
| [関西]〃耐久消費財の買い時判断(原数値)    | 39.7    | 39.8    | 40.3    | 41.6    | 41.1    | 39.5    | 41.6    | 39.9    | 40.1    | 42.6    | 41.7    | 41.9    | 42.1    |
| [全国]消費者態度指数(季節調整値)       | 40.6    | 41.5    | 42.6    | 42.7    | 42.5    | 40.1    | 41.7    | 40.8    | 40.9    | 41.8    | 41.3    | 42.0    | 43.0    |
| [関西]大型小売店販売額(10億円)       | 297.9   | 316.4   | 326.9   | 412.5   | 332.9   | 290.0   | 318.1   | 303.1   | 310.6   | 303.9   | 339.6   | 302.8   | UN      |
| [関西]大型小売店販売額(前年同月比、全店)   | 3.5     | 5.0     | -0.3    | 0.6     | 1.6     | 2.3     | -0.6    | -0.3    | -2.3    | -1.5    | 0.5     | -4.0    | UN      |
| [全国]大型小売店販売額(10億円)       | 1,511.4 | 1,607.2 | 1,650.1 | 2,092.5 | 1,691.3 | 1,488.6 | 1,646.0 | 1,545.8 | 1,597.9 | 1,567.5 | 1,721.0 | 1,554.0 | UN      |
| [全国]大型小売店販売額(前年同月比、全店)   | 2.6     | 4.0     | -0.8    | 0.9     | 2.1     | 3.2     | -0.2    | -0.1    | -1.9    | -0.7    | 0.9     | -3.2    | UN      |
| 住宅・建設                    |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |
| [関西]新設住宅着工(戸数)           | 11,697  | 12,872  | 11,877  | 11,024  | 10,581  | 11,081  | 11,846  | 13,050  | 10,682  | 12,681  | 13,028  | 11,580  | UN      |
| [関西]新設住宅着工(前年同月比)        | -0.1    | 19.0    | -2.6    | -5.2    | 10.2    | 23.1    | 9.4     | 32.9    | 2.6     | -11.5   | 27.6    | -7.3    | UN      |
| [全国]新設住宅着工(戸数)           | 77,872  | 77,153  | 79,697  | 75,452  | 67,815  | 72,831  | 75,744  | 82,398  | 78,728  | 85,953  | 85,208  | 82,242  | UN      |
| [全国]新設住宅着工(前年同月比)        | 2.6     | -2.5    | 1.7     | -1.3    | 0.2     | 7.8     | 8.4     | 9.0     | 9.8     | -2.5    | 8.9     | 2.5     | UN      |
| [関西]マンション契約率(季節調整値)      | 68.9    | 67.7    | 68.7    | 62.6    | 73.4    | 76.8    | 69.3    | 61.8    | 70.4    | 70.8    | 73.8    | 69.1    | UN      |
| [関西]マンション契約率(原数値)        | 67.9    | 68.6    | 70.2    | 59.6    | 67.1    | 72.0    | 78.6    | 70.0    | 64.5    | 73.3    | 74.6    | 73.8    | 68.1    |
| [全国]マンション契約率(季節調整値)      | 67.1    | 71.5    | 80.6    | 67.3    | 60.9    | 72.9    | 64.3    | 66.0    | 71.1    | 67.3    | 60.2    | 68.9    | 73.2    |
| [全国]マンション契約率(原数値)        | 66.0    | 68.8    | 82.1    | 64.8    | 58.6    | 72.9    | 67.6    | 66.4    | 70.9    | 69.6    | 63.3    | 66.6    | 72.0    |
| [関西]公共工事前払保証額(10億円)      | 128.6   | 123.0   | 85.4    | 97.3    | 64.4    | 80.0    | 125.9   | 279.6   | 122.7   | 172.9   | 175.1   | 136.4   | 151.7   |
| [関西]公共工事前払保証額(前年同月比)     | -13.4   | -18.2   | -3.9    | 0.1     | -8.8    | 24.3    | 12.0    | 6.2     | -3.8    | -13.7   | 30.1    | 32.2    | 18.0    |
| [全国]公共工事前払保証額(10億円)      | 1,246.1 | 1,253.0 | 872.0   | 808.6   | 653.5   | 696.8   | 1,339.5 | 2,030.1 | 1,145.3 | 1,527.8 | 1,361.8 | 1,247.3 | 1,471.6 |
| [全国]公共工事前払保証額(前年同月比)     | -10.9   | -4.8    | 3.3     | -9.6    | -2.6    | -2.2    | 5.0     | 10.6    | 1.4     | -1.8    | -6.9    | 12.7    | 18.1    |
| [関西]建設工事(総合、10億円)        | 521.0   | 540.7   | 561.0   | 578.1   | 564.6   | 562.6   | 531.5   | 461.9   | 461.4   | 485.4   | 485.4   | 535.8   | UN      |
| [関西]建設工事(総合、前年同月比)       | -2.4    | -2.8    | -4.6    | -5.2    | -6.0    | -3.7    | -7.4    | -1.3    | -1.3    | -0.3    | -0.3    | 5.6     | UN      |
| [全国]建設工事(総合、10億円)        | 4,402.8 | 4,642.3 | 4,712.0 | 4,732.5 | 4,611.1 | 4,520.7 | 4,423.7 | 3,589.2 | 3,553.4 | 3,786.3 | 3,786.3 | 4,209.0 | UN      |
| [全国]建設工事(総合、前年同月比)       | 1.6     | 2.6     | -0.1    | -2.1    | 0.0     | 0.2     | -2.1    | -1.2    | 0.1     | 1.6     | 1.6     | 0.3     | UN      |
| [関西]建設工事(公共工事、10億円)      | 1,865.7 | 2,067.3 | 2,132.5 | 2,160.4 | 2,093.9 | 2,032.8 | 2,003.3 | 1,362.5 | 1,296.9 | 1,402.7 | 1,402.7 | 1,620.1 | UN      |
| [全国]建設工事(公共工事、前年同月比)     | -3.5    | -1.5    | -5.1    | -7.8    | -4.3    | -4.4    | -6.4    | -5.8    | -6.3    | -3.6    | -3.6    | -5.7    | UN      |
| 生産                       |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |
| [関西]鉱工業生産(季節調整値、10年=100) | 101.6   | 104.1   | 102.5   | 99.2    | 104.1   | 98.9    | 105.0   | 104.1   | 103.3   | 101.8   | 100.9   | 102.0   | UN      |
| [関西]鉱工業生産(季節調整値、前月比)     | 1.2     | 1.3     | -1.5    | -3.0    | 4.9     | -5.0    | 7.5     | -0.9    | -0.8    | -1.5    | -0.9    | 1.1     | UN      |
| [関西]〃出荷指数(原数値、前年同月比)     | 1.0     | -4.5    | 0.0     | -3.6    | -7.8    | -2.1    | -0.3    | -1.3    | 3.2     | -1.1    | -3.3    | 2.9     | UN      |
| [関西]〃在庫指数(原数値、前年同月比)     | 0.2     | 0.9     | 0.0     | 1.1     | 1.4     | 1.1     | 1.8     | 2.6     | 3.9     | 3.5     | 1.4     | 2.1     | UN      |
| [関西]〃出荷指数(季節調整値、10年=100) | 100.6   | 102.1   | 99.4    | 98.2    | 100.7   | 95.8    | 101.5   | 101.8   | 101.2   | 99.7    | 100.7   | 99.9    | UN      |
| [関西]〃在庫指数(季節調整値、前月比)     | 1.9     | 0.5     | -2.6    | -0.6    | 2.5     | -4.9    | 5.9     | 0.3     | -0.6    | -1.5    | 1.0     | -0.8    | UN      |
| [関西]〃在庫指数(季節調整値、10年=100) | 118.4   | 118.1   | 118.6   | 117.9   | 117.9   | 118.6   | 119.2   | 120.2   | 121.7   | 121.7   | 119.7   | 120.8   | UN      |
| [関西]〃在庫指数(季節調整値、前月比)     | 0.3     | -0.4    | 0.4     | -0.3    | 0.0     | 0.6     | 0.5     | 0.8     | 1.2     | -0.2    | -1.6    | 0.9     | UN      |
| [全国]鉱工業生産(季節調整値、10年=100) | 97.4    | 98.8    | 97.9    | 95.9    | 98.3    | 93.2    | 96.7    | 97.2    | 94.7    | 96.9    | 96.5    | 97.8    | UN      |
| [全国]鉱工業生産(季節調整値、前月比)     | 1.1     | 1.4     | -0.9    | -1.2    | 2.5     | -5.2    | 3.8     | 0.5     | -2.6    | 2.3     | -0.4    | 1.3     | UN      |
| [全国]〃出荷指数(原数値、前年同月比)     | -1.5    | -0.8    | 0.0     | -2.5    | -5.4    | -1.6    | -0.7    | -3.4    | -1.0    | -1.7    | -4.0    | 1.6     | UN      |
| [全国]〃在庫指数(原数値、前年同月比)     | 2.1     | 0.2     | 0.0     | 0.0     | 0.2     | -0.9    | 1.8     | 0.1     | 0.8     | 0.0     | -1.8    | -1.6    | UN      |
| [全国]〃出荷指数(季節調整値、10年=100) | 96.8    | 98.8    | 96.4    | 94.9    | 96.8    | 92.8    | 94.5    | 96.0    | 93.5    | 95.1    | 95.8    | 94.7    | UN      |
| [全国]〃在庫指数(季節調整値、前月比)     | 1.4     | 2.1     | -2.4    | -1.4    | 2.0     | -4.1    | 1.8     | 1.6     | -2.6    | 1.7     | 0.7     | -1.1    | UN      |
| [全国]〃在庫指数(季節調整値、10年=100) | 113.6   | 111.4   | 111.9   | 112.7   | 112.4   | 112.2   | 115.4   | 113.4   | 113.9   | 113.9   | 111.2   | 111.5   | UN      |
| [全国]〃在庫指数(季節調整値、前月比)     | -0.4    | -1.9    | 0.4     | 0.4     | -0.3    | -0.2    | 2.9     | -1.7    | 0.4     | 0.0     | -2.4    | 0.3     | UN      |
| 労働                       |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |
| [関西]現金給与総額(2府4県、前年同月比)   | 1.1     | -0.6    | -0.8    | 0.7     | -0.2    | 0.5     | 1.2     | 0.3     | -0.1    | 1.5     | UN      | UN      | UN      |
| [関西]現金給与総額(2府1県、前年同月比)   | 1.2     | -0.6    | -1.1    | 1.2     | -0.3    | 0.6     | 1.0     | 0.4     | 0.0     | 1.5     | -1.1    | UN      | UN      |
| [全国]現金給与総額(前年同月比)        | 0.4     | 0.7     | 0.0     | 0.0     | 0.0     | 0.7     | 1.5     | 0.0     | -0.1    | 1.4     | 1.2     | 0.0     | UN      |
| [関西]完全失業率(季節調整値)         | 4.6     | 3.4     | 3.7     | 3.7     | 3.1     | 3.1     | 3.6     | 4.1     | 3.7     | 3.8     | 3.4     | 4.0     | UN      |
| [関西]完全失業率(原数値)           | 4.5     | 3.6     | 3.4     | 3.3     | 3.3     | 3.3     | 3.7     | 4.0     | 3.6     | 3.7     | 3.6     | 4.1     | UN      |
| [全国]完全失業率(季節調整値)         | 3.4     | 3.2     | 3.3     | 3.3     | 3.2     | 3.3     | 3.2     | 3.2     | 3.2     | 3.1     | 3.0     | 3.1     | UN      |
| [関西]新規求人倍率(季節調整値)        | 1.79    | 1.76    | 1.83    | 1.87    | 1.92    | 1.87    | 1.84    | 2.02    | 2.03    | 1.97    | 1.93    | 2.00    | UN      |
| [全国]新規求人倍率(季節調整値)        | 1.83    | 1.86    | 1.90    | 1.90    | 2.07    | 1.92    | 1.90    | 2.06    | 2.09    | 2.01    | 2.01    | 2.02    | UN      |
| [関西]有効求人倍率(季節調整値)        | 1.14    | 1.15    | 1.17    | 1.19    | 1.19    | 1.20    | 1.21    | 1.26    | 1.27    | 1.28    | 1.29    | 1.28    | UN      |
| [全国]有効求人倍率(季節調整値)        | 1.23    | 1.24    | 1.26    | 1.27    | 1.28    | 1.28    | 1.30    | 1.34    | 1.36    | 1.37    | 1.37    | 1.37    | UN      |
| 国際貿易                     |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |
| [関西]純輸出(10億円)            | 127.5   | 100.8   | -29.3   | 167.5   | -58.4   | 139.1   | 222.4   | 223.1   | 93.1    | 223.6   | 179.9   | 100.5   | 156.6   |
| [関西]輸出(10億円)             | 1,386.8 | 1,398.2 | 1,237.0 | 1,338.7 | 1,110.0 | 1,199.9 | 1,337.1 | 1,261.0 | 1,102.9 | 1,281.8 | 1,199.4 | 1,177.4 | 1,263.3 |
| [関西]輸出(前年同月比)            | 2.8     | -1.9    | -6.5    | -10.8   | -14.9   | -3.4    | -8.4    | -8.8    | -12.8   | -7.3    | -12.7   | -9.4    | -8.9    |
| [関西]輸入(10億円)             | 1,259.4 | 1,297.3 | 1,266.3 | 1,171.1 | 1,168.4 | 1,060.8 | 1,114.7 | 1,037.9 | 1,009.9 | 1,058.2 | 1,019.5 | 1,076.9 | 1,106.7 |
| [関西]輸入(前年同月比)            | -11.0   | -8.8    | -5.8    | -19.3   | -15.4   | -17.1   | -11.4   | -18.1   | -12.7   | -15.3   | -25.4   | -12.7   | -12.1   |

注：鉱工業生産 輸送機械工業は船舶・鉄道車両除く。

## Release Calendar for October/November

| Monday                                                              | Tuesday                                                                | Wednesday                                                                   | Thursday                    | Friday                                                                    |
|---------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|---------------------------------------------------------------------------|
| 3-Oct<br>中国製造業 PMI<br>(9月)                                          | 4-Oct<br>消費動向調査(9月)                                                    | 5-Oct                                                                       | 6-Oct                       | 7-Oct<br>毎月勤労統計<br>(8月:速報値)                                               |
| 10-Oct                                                              | 11-Oct<br>景気ウォッチャー調査<br>(9月)<br>近畿貿易統計<br>(7月:確報)<br>近畿貿易統計<br>(8月:速報) | 12-Oct<br>近畿鉱工業生産指数<br>(8月:速報)                                              | 13-Oct<br>中国輸出入<br>(9月:速報値) | 14-Oct<br>公共工事前払保証額<br>統計(9月)<br>商業動態調査<br>(8月:確報値)                       |
| 17-Oct<br>建設総合統計(8月)<br>全国鉱工業生産指数<br>(8月:確報値)<br>マンション契約率<br>(9月)   | 18-Oct                                                                 | 19-Oct<br>中国固定資産投資<br>(9月)<br>中国工業生産(9月)<br>中国消費小売総額<br>(9月)<br>7-9月期中国 GDP | 20-Oct                      | 21-Oct<br>毎月勤労統計<br>(8月:確報値)<br>中国不動産市場<br>(9月)<br>中国輸出入<br>(9月:確定値)      |
| 24-Oct<br>全国貿易統計<br>(9月:速報)                                         | 25-Oct                                                                 | 26-Oct<br>近畿鉱工業生産指数<br>(8月:確報)                                              | 27-Oct                      | 28-Oct<br>全国貿易統計<br>(9月:速報)<br>求人倍率(9月)<br>完全失業率(9月)<br>近畿貿易統計<br>(9月:速報) |
| 31-Oct<br>新設住宅着工(9月)<br>全国鉱工業生産指数<br>(9月:速報値)<br>商業動態調査<br>(9月:速報値) | 1-Nov                                                                  | 2-Nov<br>消費動向調査(10月)                                                        | 3-Nov                       | 4-Nov                                                                     |